

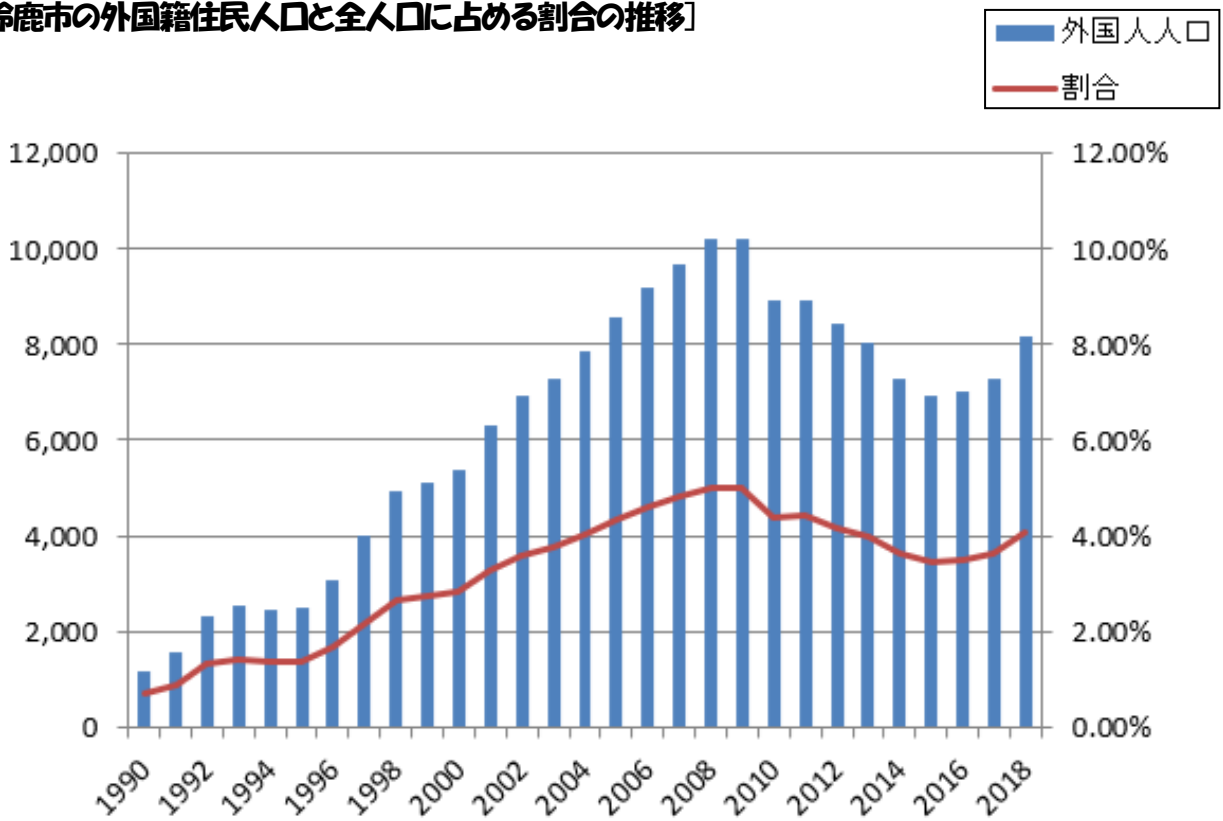
(公財) 鈴鹿国際交流協会のご案内



鈴鹿国際交流協会は、平成元年に任意団体として設立され、その後平成5年に財団法人として組織基盤を強化し、鈴鹿市の歴史、文化、産業の特性を活かした国際交流事業、及び地域における多文化共生事業を推進することにより、市民一人ひとりが夢や生きがいをもって安心して暮らせるまち鈴鹿の創造に努めてきました。そして平成25年4月には公益財団法人の認可を受けて、装いを新たに下記の事業を3本柱として計画的に実施しています。

- (1) 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解に関する事業
- (2) 多文化共生の推進に関する事業
- (3) これらを推進するための人材育成及び市民活動に関する事業

〔鈴鹿市の外国籍住民人口と全人口に占める割合の推移〕



〔国籍別外国人数〕 2018. 3. 31 現在

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. ブラジル・・・3,166 人 | 7. ベトナム・・・ 406 人 |
| 2. ペルー・・・ 1,232 人 | 8. タイ・・・ 204 人 |
| 3. 中国・台湾・・・937 人 | 9. ボリビア・・・ 203 人 |
| 4. 韓国及び朝鮮・・・563 人 | 10. スリランカ・・・ 173 人 |
| 5. フィリピン・・・556 人 | その他・・・ 324 人 |
| 6. インドネシア・・・423 人 | 合計・・・ 8,187 人 |
| | (56 か国) |

【 当協会の活動 】

1 国際交流の促進・国際理解に関する事業

課題：地域において異文化に触れる機会は、まだまだ多くありません。そのため、異文化体験の「場」の設定が求められています。

また、市の友好都市との交流の機会をつくることや鈴鹿の未来を担う中高生が国際的な視野を身に付ける機会を設け、経験してきたことを地域に還流する必要があります。

(1) 鈴鹿市・ベルフォンテン市相互交流事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市と、中高生を相互に派遣し、両市の友好親善を図ると共にホームステイ等を通して異文化に触れ生徒の国際感覚を

養います。

また、派遣前には3か月にわたって日本文化や英語スピーチの研修を行い、コミュニケーション力や社会性を身に付けます。



(2) 国際理解講座

講師の方がお持ちの文化について、料理講座やセミナー等を通して交流します。



2 多文化共生推進事業

課題：鈴鹿市には8,187名の外国人住民（平成30年3月末現在）がいます。そして近年は持ち家世帯が増加し、永住ビザ取得者が増加するなど定住化・永住化傾向にあります。

しかし、日本人が外国人と交流する場が少ないこと、交流の情報を知らない人が多いことが課題となっています。また、外国人からは交流の機会の他に、日本語を学習する機会が少ないこと、行政サービス等の情報が伝わらないこと、日本文化を学ぶ機会がないといった声が聞かれます。

(3) わいわい春まつり

異文化理解を進めるため、日本人と外国人とが音楽、ダンス、食などを通して交流できるイベントを毎年4月に開催しています。開催に際しては、実行委員会を組織し、市民ボランティアの皆さんと協働で実施します。



(4) 多言語情報(ホームページ)

日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語により、国際交流・国際協力や、多文化共生に関する情報提供をします。

また、フェイスブックページにて、鈴鹿市や近隣市町で実施されるイベント情報等や関係団体、賛助会員からの情報も随時紹介します。

(5) SIFA ニュース

市民及び賛助会員の皆様に協会の各種事業活動の情報を提供します。(年4回)

(6) 日本語会話講座開催事業

在住外国人が日常的に使う日本語力を高めるための講座を開催します。

(7) 外国語版広報紙(マンスリーずずか)

やさしい日本語、ポルトガル語、スペイン語版の広報紙を発行します。(毎月1回)

(8) 外国人向け起業セミナー

スモールビジネスを展開または、今後起業を検討している在住外国人向けに、経営や輸出入についてのセミナーを開催します。



3 人材の育成、市民活動等の支援

1と2で挙げた事業課題は、協会だけでは解決できるものではなく、市民の皆さんや関係団体と一緒に取り組む必要があります。そのための人材がまだまだ不足しています。

(9) 日本語学習支援者養成研修

市内にはボランティアが運営する日本語教室が3か所あります。そこで日本語を教えるボランティアを養成する講座を開催します。



(10) 外国籍児童生徒の学習支援者養成研修

教育委員会と連携し、地域や公立の小・中学校の学習支援教室のボランティアを養成する講座を開催します。



(11) 他団体との連携

社会福祉協議会や、難民事業本部等の市内や国レベルの国際協力・国際交流機関・団体と事業の協働や相互協力を行います。

今後の組織課題

協会は職員4名の小規模組織でマンパワーに限界があるため、事業実施の際次の事を念頭に進めます。

- ・市民ボランティアの育成や、賛助会員の拡大を図るとともに、それらの組織化を目指します。
- ・商工会議所をはじめ市内外の様々な関係団体と連携を一層強化し、事業の協働化を目指します。

会員になって協会のリソースを利用してください。

- ・会員価格で協会事業への参加
- ・米国オハイオ州ベルフォンテン市でのホームステイ体験をサポート
- ・外国籍住民に日本語で届く行政書類等の内容理解をサポート
- ・通訳者、翻訳者の紹介

お願いしたいこと

- ・賛助会員へのご入会
- ・ボランティア会員へのご登録

【賛助会員 年会費について】

個人： 1口 2,000円

企業・団体： 1口 10,000円

※皆様のご支援をどうぞよろしくお願いたします。

公益財団法人 鈴鹿国際交流協会

SIFA 【Suzuka International Friendship Association】

〒513-0801 鈴鹿市神戸一丁目17番5号 別館第3

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 E-Mail : sifa@mecha.ne.jp

URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp> Facebook : <https://www.facebook.com/sifa.suzuka>